

平成31年度(令和元年度) 地方創生推進交付金事業の実績

区分	具体事業	総事業額 (円) ※交付金申請額	交付金充当 額 (円)	担当課	目的	個別事業の実績	設定KPI	各課における事業の検証(振り返り)と今後の課題
地方創生推進交付金	使用済み紙オムツ再資源化事業	24,588,000	12,294,000	市民環境課 環境政策係	<p>志布志市は、焼却施設を持たず廃棄物はすべて埋立て処分している。平成12年度から当時の曾於郡8町と共に分別収集を開始し、さらに平成16年度からは独自に「生ごみ」も品目に追加した。その結果、対平成10年度比で毎年80%以上の埋立てごみ削減に成功した。</p> <p>これにより、平成25年度一般廃棄物処理実態調査において当市はリサイクル率76.8%、また「市」として8年連続日本一となるなど、当市のブランドイメージ向上に大きな効果をもたらしている。さらに、この資源ごみ回収事業に伴い設立された「有限会社そおりサイクルセンター」は、現在地域の中核企業として当市の仕事づくりに重要な役割を果たしている。</p> <p>そこで、本事業では、これまで再資源化が困難と言われていた「高分子吸収体」を処理する基礎技術を元に、焼却を行わない完全な再資源化を目指し、使用済み紙オムツの再資源化システムの構築と本格事業実施に向けた処理技術の開発を行うことで、新たな分別回収に係る地域雇用の創出を図る。</p> <p>【活用実績】 平成28年度 地方創生加速化交付金 平成29年度 地方創生推進交付金 平成30年度 地方創生推進交付金</p>	<ul style="list-style-type: none"> 再資源化システム構築 協議会謝金等 29,290円 消耗品費 595,188円 再生処理に係る技術開発 技術開発委託料(機械装置含む) 19,998,000円 情報発信に係る経費 動画作成費 908,600円 <p>計) 21,531,078円</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新規雇用者数 ・平成31年度・・・15人 使用済み紙オムツの処理量 ・令和2年度・・・1,300トン 視察受入による経済効果 ・令和2年度・・・16,000千円 	<p>これまで同様、ユニチャーム(株)と共同で実証実験を実施するとともに、これまでに生じた課題を解決するため、処理方法の改良を行った。</p> <p>また、市の環境政策啓発のため、情報発信の強化を図り、環境政策の取組動画を作成した。</p> <p>さらに、ユニチャーム(株)、そおりサイクルセンター、大崎町、志布志市の4者で、事業化に向けた会議を開催するなど、今後も継続的に実施できるよう検討を重ねていく方針である。</p>
地方創生推進交付金	「大隅はひとつ！」大隅広域観光推進事業～健やかおおすみ半島 おおすみプロジェクト～	3,482,000	1,741,000	港湾商工課 観光係	<p>大隅地域は、温暖な気候と手付かずの豊かな自然、宇宙空間観測所やスポーツ関連施設等、多彩で特色のある観光資源を有しているものの、これまで戦略的かつ効果的な観光施策が行われなかった。さらに、平成6年度に大隅地域4市5町において「大隅広域観光開発推進会議」を設置し、観光や特産品振興等の取組みを進めてきたが、体系的な観光施策として行われていなかったため、「観光客等交流人口の増加」や「ブランド力の向上」に発展できていないのが現状である。</p> <p>そこで、大隅地域の観光振興を戦略的に推進する「日本版DMO『大隅広域環境協会(仮称)』」の設立を目指し、専門人材の配置の下、広域観光計画の策定、地域内の機運醸成等を行うとともに、複数年に渡り、多様な関係者の合意形成、人材育成、観光戦略のための各種データの収集・分析等を行う。また、大隅地域ブランド化を図り、将来的には集客・消費拡大による地域産業の振興、雇用創出、定住促進を目指す。</p> <p>【活用実績】 平成28年度 地方創生加速化交付金 平成29年度 地方創生推進交付金 平成30年度 地方創生推進交付金</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本版DMO事業推進経費 人件費 日本版DMO組織運営経費 地域資源を活用した「稼ぐ力」創出事業 マーケティング調査・分析事業 戦略に基づくプロモーション等事業 地域資源を活用した観光商品の造成や事業実施 地域人材育成事業 <p>志布志市負担分 計) 3,482,000円 [4市5町 26,150,000円]</p>	<ul style="list-style-type: none"> 延べ宿泊者数 ・平成31年度・・・441,000人 滞在型体験プログラム参加者数 ・平成31年度・・・300人 ホームページ閲覧件数 ・平成31年度・・・64,000件 1人当たりの旅行消費額 ・平成31年度・・・5,900円 	<p>日本版DMO設立に向け、どういった事業内容にするのか、事務局体制はどうするのかとの協議を数多く重ね、平成30年8月1日、「日本版DMO 株式会社おおすみ観光未来会議」を設立。平成31年3月29日に日本版DMOに認定された。現在の会員数は54。</p> <p>株式会社設立後は、当該会社を実施主体として大隅地域4市5町と連携しながら、大隅観光戦略会議を開催し、大隅地域の観光におけるより戦略的な事業展開を図っている。</p> <p>一方で、広域的な観光となるため、大隅地域全体の観光客誘客に繋がるか課題も残っている。</p>
総計		28,070,000	14,035,000					